

私たちの主張

— 20歳になって思う「新成人からのメッセージ」 —



伊藤 秀太さん (迫町)

■古里を離れ改めて思う  
家族や先生への感謝の気持ち

**平** 成の始まりとともに生まれたわたしは、今は、周囲の支えのもと、20年の時を過ごし、今日無事に、成人式を迎えることができました。

わたしは現在福島県で生活しています。古里を離れて改めて思うことは、健康に育ててくれた両親と、目標達成に導き次へと送り出してくれた先生方の存在です。今日は少ししか成長した姿をお見せできませんが、これからも温かく見守ってほしいと思います。

今、わたしは大学で経済を学んでいます。刻一刻と変わる世界経済の中で、将来どのように社会に貢献していくか、またどういった形で、地域に恩返しができるのかを、残りわずかな学生生活で考えていきたいと思っています。

20歳という節目を迎え、わたしたちの背中には「責任」と「期待」が、これまで以上に重くのしかかります。重圧につぶされそうなきにこそ、他人への思いやりと感謝の心を忘れず、この希望に満ちあふれた世の中に、良き仲間たちと共に、さわやかな平成の風を吹かせていこうと思っています。

これからの困難にぶつかることもあると思いますが、少しずつ乗り越え、着実に一歩ずつ成長していきたいと思っています。

わたしがここまで健康に成長してこれたのは両親のおかげです。また、今までの20年間を振り返ると、家族、友人や先生など、たくさんの人々に支えられてきました。特に家族にはたくさん迷惑を掛けてきたと思います。これからの迷惑を掛けるとは思いますが、20歳となり大人に近づくとわたしたちを見守ってほしいと思います。

行動や発言に責任を持ち、少しずつ大人としての自覚を持ちたいと思います。

**本** 日は、わたしたちのために、このようなたてまつりな立派な成人式を開催していただき、ありがとうございます。

20歳に対する思いは皆、さまざまだと思いますが、わたしにとっての20年間はあっという間で、今日の成人式を迎えていることが、信じられない気持ちでいっぱいです。

20歳を迎えたわたしたちは、周りからは「大人」と呼ばれます。これからは自分自身の行動や発言に責任を持ち、少しずつ大人としての自覚を持ちたいと思います。

■自身の行動や発言に責任を持ち大人としての自覚を持ちたい



佐藤 晴香さん (迫町)



千葉 聡さん (東和町)

■一日も早く一人前になることが  
お世話になった人への恩返し

**わ** たしは、高校を卒業後、就職し働いています。入社する際には、「仕事を胸に抱き入社しましたが、いまだ先輩方に迷惑を掛けている毎日です。そのため一日でも早く一人前になることが、わたしを支えていただいている先輩方への恩返しであると思うので、早く周囲から認められたいと思います。このように、仕事や充実した日々を送れるのは、これまでの20年間多くの人がわたしを支えてくれたおかげで、今は感謝の気持ちでいっぱいです。

成人式を迎えた今、大人の仲間入りができたとうれしさとともに、これからは、すべての場面において、自分の発言や行動に責任を持たなければなりません。

これから先、社会の厳しさを実感し、現実に不安を感じる時もあると思いますが、そのときこそ、自分自身を見失わずに、これまで支えてくれた人の顔を思い浮かべ、目標を持って前へ進んでいきたいと思います。



# 20歳 再会と門出

登米市の未来を開く新成人



「社会人として自覚のある態度で社会に貢献できるよう努力します」と誓った齋藤祐一郎さん (迫町) と藤欠遥さん (南方町)

「成人の日」前日の1月10日、登米市成人式が登米総合体育館で開催されました。

今年の成人式は、昨年より43人少ない1047人(男522人、女525人)が対象。このうち、式典には晴れ着やスーツに身を包んだ886人の新成人が出席しました。

開式前、旧友との再会を喜ぶ声が響く一方、式典では大人としての自覚を真剣な表情で受け止めていました。